

<今野リポート>

いつものように今大会を簡単に振り返ります。

・参加申し込み

大村さんには「ブランク永井である故、戦力外です。懇親会と温泉を主にお邪魔します」と申し添えていたが

「それでは勝ち越し以上とレポートがノルマです」。オヨヨ・・・宮城の悪代官になったか？
対抗戦と銘打ってあるが自分の中では交流戦の位置付けでいる。

・当日朝

3:00 起床、・・・遠足に行くこどもか！昔はこの時間に就寝していたなあ～

東日本大震災で1週間の停電を経験したあとは太陽に活動を合わせてある。

つまり、陽が沈む頃には出来上がっているのである。

雑用をこなし 7:20 出発。初めての会場なので余裕を見ている。

高速道を運転するのは久しぶりだ。いつもは運転して貰っているから大丈夫だろうか。

と言っても高速バスなんですけれどね。

村田 IC で降りればなんとかなるだろうと考えていたが早速分からない。

想定していた「遠刈田温泉」の案内が無いのである。

人に道を聞いて 9:05 に宮城蔵王ロイヤルホテル到着。道中は季節がら果物屋さんが多かった。

駐車場で石巻チーム（浅野支部長、近江さん、鈴木さん）と合流。

3F の会場では顔馴染みのメンバーが大勢集まってくる。

小山さんや、千坂さん、山口（昌）さん、諏訪部さん、嶋田さん、千葉（正）さん、

古川チームの阿部（勝）さん、白石さん、中塩さん、遠藤さん、

岩手の芳賀さんも古川王将会に入会し熱心だ。岩手といえば藤原さんや細川会長も。

順位戦でおなじみの寺澤会長や酒田の渡部さん。

仙台の伊藤（靖）さんは山形チームでの出場とのこと。

高橋管理人は1勝はしたいと決意。

受付にはいつもの顔ぶれ。大坂さん、大村さん、檜澤さん、杉山女流、伊藤女流、佐藤 女流。

今回会場はイス席で楽そうだ。

時間があるので喫煙所の確認。2F へ降りて行くと先着の花輪さん。

「将棋世界に観戦記を書くななんてスゴイじゃないですか」

「原稿料が安いだよ、あれだけ書いて〇万円」・・・山吹色の小判の夢でも見ていたのだ

ろうか（笑）。

山口（秀）さんはメタボがだいぶ改善されていた。

「ダイエットしたんですか？」

「今の仕事がきつくてよ～」

会場に戻ってみると、相部屋になっている岡部（隆）さんが未だ見当たらない。

杉山女流に確認すると第一土曜は仕事らしく、懇親会から参加とのこと。

・黙祷

開会に先立ち山口県連会長へ参加者全員で哀悼の意を表す。

訃報に接する度に人生の残り時間を意識する。

人生は万人切れ負けルール。どんなに優勢になっても切れたらお終い。

私も故芹沢九段の享年51歳を超えた。残り時間で何をなすべきか。

人生の終局図は想像も出来ていないが、最後は猫がニャーと鳴いてくれればまあそれで良いか。

しかし、災害で亡くなった方達はそれすらも叶わなかったのだな～。

・開会挨拶

吉田監督は校長先生のような立派な訓示をされている。

「自分独りで強くなったと錯覚してはいけない。こうした大会の主催、運営者に想いを馳せて欲しい」

若い人達に通じただろうか。歳を取らないと実感できないことなのかもしれない。

・第1局：渋谷（和）さん○

居飛穴に圧力を掛け、駒のぶつからない長い戦い。最後は即詰みに。

時間を使ったのと感想戦で13:00になってしまった。これで全敗は無くなった。

・昼はカレー、相澤さんとコメが美味しいで一致。

・第2局：柳田さん●

甘い序盤で早速不利に。以下、飛車を素抜かれ短時間、短手数で終局。

目が見えないし手も見えない。級位者レベルの将棋を指してしまった。

隣で対局中の花輪さんも苦笑で慰めてくれた。

・第3局：吉田監督●

居飛穴を姿焼きにする予定が、なぜか攻め潰しに行っちゃってキレ模様。

電王手君のように考えた手を着手できない。

- ・風呂 宴会が 19:00～なので岡部さんを誘って一風呂。

- ・宴会 テーブルの上には高価そうな日本酒群がズラリと並んでいる。
・・・これがあつという間に倒されていく。ボーリング場か！
室谷女流は律儀にお酒を注いで回っている。
握手してもらったが柔らかい手だった。飾らず気さくでかわいい。
初美女流の一推しで派遣されたというだけのことはある。
藤原さんは会津の酒を注いで回っている。
これが殺菌していない中絞りで炭酸ジュースのよう。思わずおかわりを催促。
皆さんとは将棋や日本酒、ラーメン、おまけに猫談義。
会場は禁煙。タバコ部屋に行くとまたまた花輪さん。
レポートを書く予定ですと言ったところ、「今野さんも長編を書けば？」
「花輪さんに倣って（宮城の良い渡世人）で書きませんか」
「遊び人じゃないの？」・・・すかさず切り返してくるあたりが「天童の良い悪代官」らしい。

- ・二次会：ここでの話題はなんといっても河北新報の観戦記掲載。
0を1にするのには大きな力が要る。1を10にする方が簡単。
大きな一歩であると認識を一致した。
今年4月から消費税が上がったが、大会参加費は据え置きたい運営側。
会場が変わったのもその辺の事情があったようで裏方の苦勞を知る。
寺澤会長に以前お聞きしたのだが、順位戦も初めは純粹に将棋を中心としたものだったが、賞品、賞金、料理、酒を豪華にしろという声を受けて段々値上げしてきたという。
経済動向から今の参加費が妥当なところでしょうか。
23:50 お開き。

- ・二日目朝：カラスのひと鳴きで 4:50 起床。カラスには悩みがあるのだろうか。
朝の露天風呂は雨で風情がある。
部屋に戻り 6:30 に岡部さんを起こす。
7:00 のバイキングに合わせ風呂行きを勧める。
朝風呂の後のバイキングも楽しみのひとつ。
腹ごしらえして一服。着替えてフロントにキーを返し売店を覗く。
面白い扇子が置いてある。10億円札が7枚構成。

う～む70億円か。値札を見ると324円。ギャップに笑い対局場へ。

・第4局：佐々木（一）さん●

相中飛車の後手番、普通に指すと普通に悪くなるので動いてみたが無理筋。切らされてしまった。

・第5局：阿部（慎）さん●

慣れない中飛車左穴熊を指してみたが本当に慣れていない。筋が悪すぎ。7九金を角で切られるとなかなか受けきれない。だがこれが次に活きる。

・二日目昼：岡部さんと食べていると今日だけ参加の軽部さんもやって来た。

テーブルには宮城の方言が書かれたものがあつたが、山形でも全部通じること。

・第6局：飯塚プロ○

5面指しなのにプロの持ち時間は1時間のまま。計算すると12分切れ負けか。対局相手に指したい戦形を聞いてリクエストに応じている。

私は戦形指定なしでお願いしたが、初手五六歩から相振り飛車になった。

前局の反省を活かし八七銀、七八金型に組み、右の金銀は六九金、五八銀型。

プロは打ちやすいボールを投げて来る。これにクリーンヒット。

最後は切らされたかと思う局面が現れたが俗手の寄せを発見。

プロも見落としていた筋で、簡単に必至の掛かる1手前に投了された。

・後片付け 盤、駒、時計を片付ける。皆が協力すると一気に終わる。

・表彰 閉会と記念撮影

結果は大差で山形勝利。

閉会挨拶で飯塚プロは初めから勝利者賞の色紙を多めに持ってきたとのこと。

つまり、アマに勝って欲しい方針でいるのだ。

・帰路：16:15 ホテル出発。

4K先の案内を最後に村田ICを見つけられず仙台南ICから高速道へ。夕陽が真っ赤で美しい。

料金所のスタッフの対応が良くなっている。

「お疲れ様でした。ありがとうございます。お気をつけて」

昨日も同じ言葉を掛けられたのでマニュアル化されているようだ。

- ・ 18:00 : 帰宅してからもうひと仕事、「解けてうれしい詰め将棋」の解答最終集計作業。
懸賞詰将棋のほか必至、不必至（逃れ）を織り交ぜて出題しています。
高段者でも誤答が出るコーナー。皆さんも下記、三宅さんの URL から挑戦してみてね。

<http://www.geocities.jp/kaitou6678/>

- ・ 22:00 : 夜空の月が美しい。1 時間ほどで酒を切り上げ爆睡。日常を離れた濃密な二日間だった。

それでは皆さんまた来年お会いしましょう。(終り)